

町村協会だより

43

(日高支庁管内日高町)

合併により一層の交流活動を推進

第四十三回目として紹介します協会は、日高支庁管内の西部に位置し、重要文化財のアンモナイト化石や地方競馬最大規模を誇る門別競馬場で有名な町の日高町身体障害者福祉協会(中川美和会長)です。

同協会は、平成十八年四月一日に旧日高町と旧門別町との合併により、新たに設立されました。合併前の事務局は、役員の方の自宅に置かれていましたが、合併に伴い社会福祉協議会が担っています。また、日高町は飛び地合併のため、役場間の距離が六十五キロもあるので、独自の

活動を尊重して支部制も設けております。

役員及び執行体制は、中川会長をトップに副会長二名、理事五名、監事二名の計十名で構成されており、会員数は日高支部、門別支部とも三十七名の計七十四名おります。



日高支庁管内身体障害者福祉協会
創立50周年記念被表彰者

主な年間行事及び活動内容

- ▼ 理事会、総会
- ▼ 交流会(各支部)
- ▼ 秋季親睦会・新年会(日高支部)
- ▼ 視察研修旅行(一泊二日・合同)
- ▼ 管内身障協会研修旅行参加
- ▼ 管内身障大会参加(スポーツ大会・ゲートボール大会・パークゴルフ大会)
- ▼ 三町村身障協会交流会に参加
- ▼ 全道身障者スポーツ大会出場
- ▼ 全道障害者冬季スポーツ大会出場
- ▼ 全国身障者



視察研修旅行(えにわ湖畔)

スポーツ大会出場

日高町身体障害者福祉協会PR

同協会は、全道障害者スポーツ大会に積極的に参加しており、毎回金・銀・銅のメダルを獲得し、全国大会にも多く出場しています。また、管内の大会には種目により支部ごと又は合同で参加しており、和気藹々の中楽しく交流を深めております。

現在、門別地区での人口に対し会員数が少なく、会員加入の促進が大きな課題となっております。



三町村身体障害者福祉協会交流会
(日高町にて)